

# 令和2年度年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	家庭	科 目	家庭基礎（2単位）
対 象	第2学年		
教 科 書	第一 高等学校 新版 家庭基礎		
副教材その他	サポートノート		
目 標	人の一生と家族、子供の発達と保育、高齢者の生活と福祉、衣食住、消費生活などに関する知識と技術を総合的に習得させ、生活課題を主体的に解決するとともに、家庭生活の充実を図る能力と実践的な態度を育てる。		
学期	時間	単 元	内 容
1	14	装う エコバッグの作成	身近な服装に着目し、さまざまな視点から話し合ってみることで衣生活に興味・関心を持つ。 着衣動機など衣生活を見つめ直す。 衣服のラベルやタグを理解する。
	14	衣服を作る	衣服の機能には「保健衛生機能」と「社会生活機能」があることを理解する。世界に一つしかない自分のブランドの作品を作る。汚れと賢い保存法を理解する。
2	14	育つ・育てる (あなたの心や体の発達を振り返ってみよう) 子供と出会う。	子供に対するイメージを膨らませ、保育学習の意義を理解する。子供の発達を身体・運動機能・言葉・知能の観点から理解する。また、遊びの意義を理解し、遊具の製作や食事の実習を取り入れ、乳幼児の安全、健康などについても学習する。母体の健康管理の重要性と生命の尊さを認識する。保育における親の役割について理解する。
	14	子供を知る。 自分の未来像としての子育て支援を学ぶ	保育における親の役割について理解する。家庭保育と集団保育のそれぞれの意義を理解する。育児不安や児童虐待の起こる理由を知り、子供にとって望ましい保育環境を考える。児童福祉の基本的な理念について理解する。
3	6	食べる (コンビニ弁当に見る食生活) 食べ物を作る レシピを理解する どう食べたらよいか?	手軽に手に入る「コンビニ弁当」を例にあげ、様々な視点から分析してみると食生活に関心を持つ。朝食調査を通して自分の食生活の問題点について考え、バランスのよい食事について理解する。レシピを理解し、調理に関しての基礎的な知識・技術を身につける。食生活の歴史や地域の食文化を知り、これからの楽しい食事の工夫をする。配膳や食事のマナー、環境への配慮について理解する。

評 価	(観点・基準)
	1. 人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活について関心を持ち、その充実・向上に取り組もうとしている。 2. 人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活について見直し、課題を発見・解決を目指すために思考・判断・工夫することができる。 3. 人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活についての基礎的・基本的な知識・技術を身につけている。

# 令和2年度年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	家庭	科 目	家庭基礎（2単位）
対 象	第4学年		
教 科 書	第一 高等学校 新版 家庭基礎		
副教材その他	サポートノート		
目 標	人の一生と家族、子供の発達と保育、高齢者の生活と福祉、衣食住、消費生活などに関する知識と技術を総合的に習得させ、生活課題を主体的に解決するとともに、家庭生活の充実を図る能力と実践的な態度を育てる。		
学期	時間	単 元	内 容
1	14	装う エコバッグの作成	身近な服装に着目し、さまざまな視点から話し合ってみることで衣生活に興味・関心を持つ。 着衣動機など衣生活を見つめ直す。 衣服のラベルやタグを理解する。
	14	衣服を作る	衣服の機能には「保健衛生機能」と「社会生活機能」があることを理解する。世界に一つしかない自分のブランドの作品を作る。汚れと賢い保存法を理解する。
2	14	育つ・育てる (あなたの心や体の発達を振り返ってみよう) 子供と出会う。	子供に対するイメージを膨らませ、保育学習の意義を理解する。子供の発達を身体・運動機能・言葉・知能の観点から理解する。また、遊びの意義を理解し、遊具の製作や食事の実習を取り入れ、乳幼児の安全、健康などについても学習する。母体の健康管理の重要性と生命の尊さを認識する。保育における親の役割について理解する。
	14	子供を知る。 自分の未来像としての子育て支援を学ぶ	保育における親の役割について理解する。家庭保育と集団保育のそれぞれの意義を理解する。育児不安や児童虐待の起こる理由を知り、子供にとって望ましい保育環境を考える。児童福祉の基本的な理念について理解する。
3	6	食べる (コンビニ弁当に見る食生活) 食べ物を作る レシピを理解する どう食べたらよいか?	手軽に手に入る「コンビニ弁当」を例にあげ、様々な視点から分析してみると食生活に関心を持つ。朝食調査を通して自分の食生活の問題点について考え、バランスのよい食事について理解する。レシピを理解し、調理に関しての基礎的な知識・技術を身につける。食生活の歴史や地域の食文化を知り、これからの楽しい食事の工夫をする。配膳や食事のマナー、環境への配慮について理解する。

評 価	(観点・基準)
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活について関心を持ち、その充実・向上に取り組もうとしている。</li> <li>2. 人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活について見直し、課題を発見・解決を目指すために思考・判断・工夫することができる。</li> <li>3. 人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活についての基礎的・基本的な知識・技術を身につけている。</li> </ol>